

Functional Stage Classification Recovery Phase System

装具選定とカテゴリ選択の共通指標

装具選定は、ユーザーごとの個別性が高く、身体機能や回復段階に応じて整理する視点が求められます。

同じ病態でも、動作に必要な装具支持性や補助機能は様ではないため、それぞれのユーザーにより適切なカテゴリや装具は変わります。

Functional Stage Classification (FSC) および Recovery Phase System (RPS) は、装具選定をわかりやすく、共有しやすくするための指標です。体重のみを指標とする考え方とは異なり、歩行再建における回復段階に応じて、装具選定を整理しています。

これらは、装具選定の共通言語化、カテゴリ選択の標準化、経過に応じた再評価に用います。

Functional Stage Classification (FSC)

主に中枢神経障害が対象

FS : Functional Stage

FS	麻痺の程度	歩幅の大きさ	適応する装具	装具に求める機能
I	重度	狭い～普通	支持性 硬いカテゴリの ENAPLE AFO	補助 ヒールロッカー・アンクルロッカー
II	中等度	普通	中間カテゴリの ENAPLE AFO	補助 ヒールロッカー・アンクルロッカー 誘導 フォアフットロッカー
III	軽度	普通～広い	効率性 軟らかいまたは 中間カテゴリの ENAPLE AFO	補助 ヒールロッカー・アンクルロッカー・フォアフットロッカー

Recovery Phase System (RPS)

主に末梢神経障害が対象 *小切断や神経筋疾患などにもRPSを応用します

RP : Recovery Phase

RP	患側の支持性	歩幅の大きさ	適応する装具	装具に求める機能
I	不十分	狭い～普通	支持性 硬いカテゴリの ENAPLE	補助 ヒールロッカー・アンクルロッカー
II	やや不十分	普通	中間カテゴリの ENAPLE	補助 ヒールロッカー・アンクルロッカー 誘導 フォアフットロッカー
III	十分	普通～広い	効率性 軟らかいまたは 中間カテゴリの ENAPLE AFOまたは Carsha AFO	補助 ヒールロッカー・アンクルロッカー・フォアフットロッカー

*補助：不足しているロッカー機能を装具により代償・支援すること

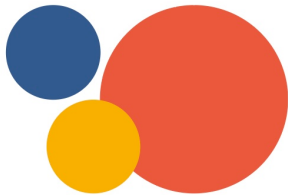
*誘導：残存機能を活かしながら、より適切な荷重移動・推進方向へ導くこと

カテゴリ選択における具体的な臨床判断として以下のことにご注意ください

- ヒールロッカー機能補助時に足関節底屈角度の増大が認められる場合、
- アンクルロッカーまたはフォアフットロッカー機能補助時に、下腿の早期前傾により前足部荷重や踵離地が不十分な場合、
- 動作学習の期間に目的とする歩行様式が十分に得られず、長期的に改善を促す場合、より硬い(高い剛性)カテゴリを選択します



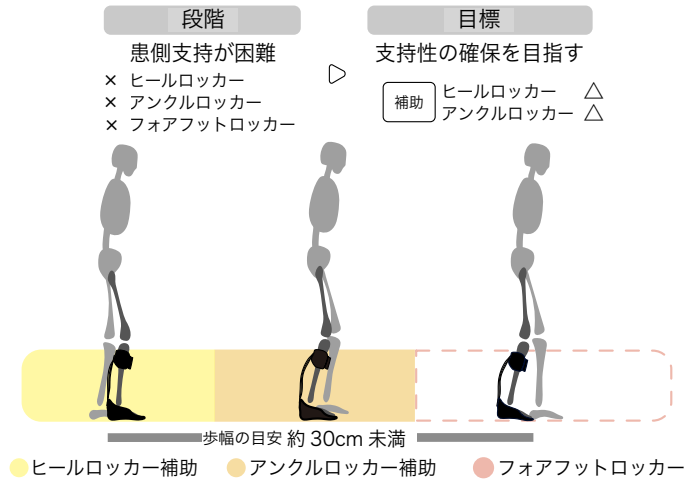
SAWAMURA Prosthetics and
Orthotics Service Co.,LTD
Contact
phone : 078-304-6680
Email : material@sawamuragishi.jp



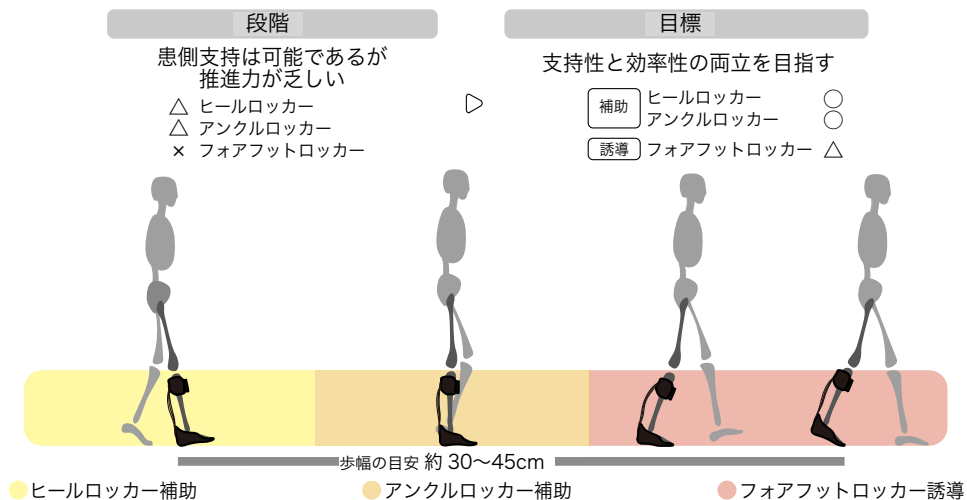
Functional Stage Classification Recovery Phase System

装具選定とカテゴリ選択の共通指標

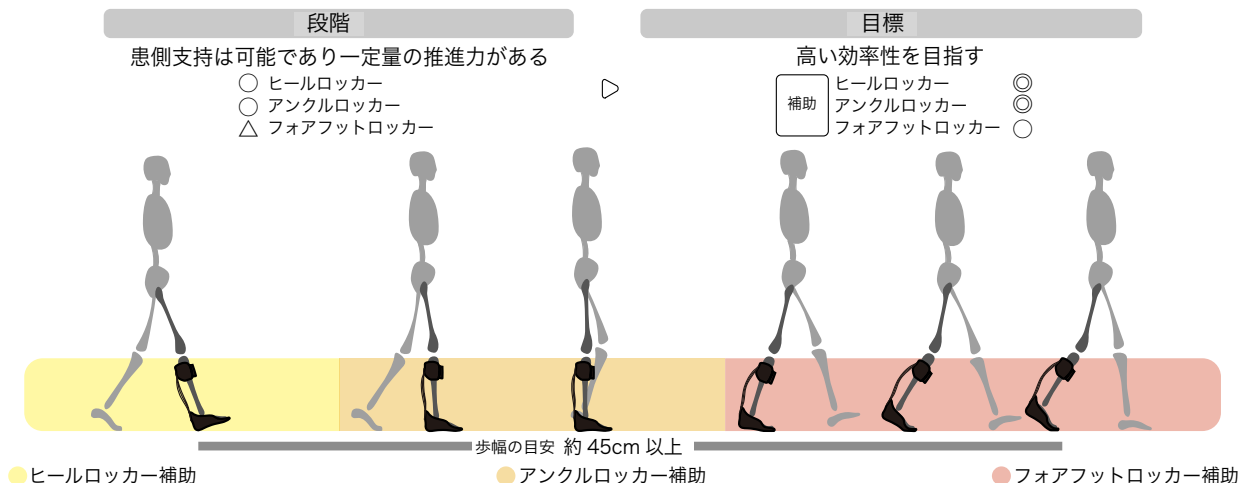
FS I RP I



FS II RP II



FS III RP III



*歩幅は、身長、下肢長、疾患特性、身体機能などにより変化するため、臨床判断の目安として用います